

数学

<全体分析>

試験時間	120分	解答問題数	5題
------	------	-------	----

解答形式

短答式、記述式（証明を書く設問が3問あった）

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加）

難易（易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化）

最初の問題は小問集合であるが、この部分の問題量、計算量が例年と比べ増加した。それ以外の問題も例年以上に計算力を要する問題であった。

出題の特徴や昨年との変更点

数学Ⅲ、数学B、数学Cの出題の比重が高い。空間図形に関する問題は本年度は出題されなかった。

その他トピックス

抽象的関数を素材とした問題の出題が続いているが、本年度は顕著であった(2題出題された)。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
1 (1)	複素数平面	数学C	アポロニウスの円の中心、半径を求める	やや易
(2)	整数、数列	数学B	条件を満たす整数の個数 群数列のように扱うこともできる	標準
(3)	微分法、積分法	数学Ⅲ	逆関数、合成関数の微分	やや難
2	微分法 ベクトル	数学Ⅲ 数学C	接線の方程式 平面ベクトルの成分計算	標準
3	確率、漸化式	数学B	ランダムウォークの確率 いわゆる連立型の漸化式	標準
4	積分法	数学Ⅲ	数列の和を定積分で評価する	標準
5	図形と方程式	数学Ⅱ	円周上の点によってできる線分の長さの最大値 根号をはずして一次式を導く ペル方程式を素材とした問題	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

数学Ⅲ、数学B、数学Cを中心に、ねばり強い計算力が求められている。教科書の学習にとどまらずに、標準的、典型的入試問題を集めた問題集に取り組んで、実力を伸ばしていこう。計算力だけでなく深い分析力、思考力を問う問題が出題されているので、問題集に取り組む際にはじっくり考えて自力で答を導くことが重要である。また、抽象的関数を素材とした問題などは本大学の過去問の研究が役に立つはずである。